

SONY

ようこそ、新しい時代の医療映像へ

NUCLEUS

もはや常識となった手術映像の撮影収録

単なる録画管理にとどまらない

多様な用途が期待される

この分野の未来をソニーが創る

ヨーロッパで実績を重ねたスタンダードに

ソニーが映像分野で培ってきた

最新鋭の画像解析技術をプラス

必要なアプリケーションを組み合わせて進化する

全く新しい手術映像ソリューション

医療映像プラットフォーム NUCLEUS

IP (Internet Protocol) ネットワークを通じ、手術室を含む院内の多様な機器からの医療映像データを一元的に管理・活用することで、手術サポート、ワークフローの効率化を実現する次世代型映像システムです。

- ▶ 術中の映像上にリアルタイムでさまざまな付加価値を提供
- ▶ 手術準備・機器メンテナンスの簡素化

[海外導入事例]

カロリンスカ大学病院
Karolinska University Hospital

ルーベン大学病院
UZ Leuven

NUCLEUSの紹介サイトはこちら
sony.jp/pro/nucleus/



リアルタイム配信で、離れた場所からでも状況確認、双方向コミュニケーション



スタッフステーション



医局



診察・執務室



研修講義室

NUCLEUS

別々の機器や手術室にまたがる、複数の高画質映像を効率的にマネジメント



〔 ベーシック機能(映像管理) 〕

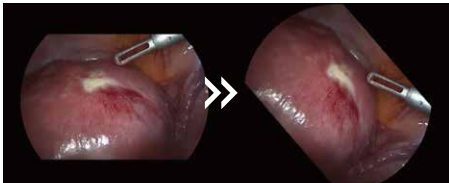


〔 アドバンス機能(映像活用) 〕



特長①

術中の映像上にリアルタイムで付加価値を提供するアプリケーション

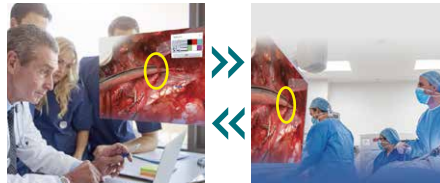


回転補正

執刀医の視線を一定に保てるよう自動補正した映像表示

内視鏡のスコープが回転した状態でも、安定した視野を確保し、術者の負担を軽減します。

ソフトウェアプラットフォーム上で、新たなアプリケーションの追加が可能。機器の交換をすることなく、常に最新の機能を利用できます。
※アプリケーションは順次追加予定



テレストレーション

手術室内と手術室外をつなぐ、双方向コミュニケーション

手術室外にいる指導医が直接、映像上にリアルタイムにアノテーションを行うことが可能で、音声・映像の両方によるアドバイスにより、執刀医をサポートします。また研修医の教育にも有用です。

特長②

IP化により、複雑な配線環境をシンプルにし、機器メンテナンスの負担も軽減



配線が統一化されることで、さまざまな映像機器を準備する際のスタッフの負担を軽減します。さらにIPコンバーターに入出力されている映像情報のリモート管理が可能のため、メンテナンスにかかる時間も減らせます。

安全に関する注意 商品を安全に使うため、使用前に必ず「取扱説明書」をよくお読みください。

商品使用上の注意 ●本製品は医療機器ではありません ●使用環境によっては、本機の動作の精度が完全に出ない場合があります **カタログ上の注意** ●仕様および外観は、改良のため予告なく変更されることがあります ●カタログと実際の商品の色とは印刷の関係で、多少異なる場合があります ●使用シーンの写真はイメージです ●機能説明の写真はいずれも機能をわかりやすくするため、写真を加工したイメージです **商標について** ●「ソニー」および「SONY」、ならびにソニーの商品名、サービス名およびロゴマークは、ソニーグループ株式会社またはその関連会社の登録商標または商標です ●その他の商品名、サービス名、会社名またはロゴマークは、各社の商標、登録商標もしくは称号です。なお、本文中ではTM、®マークは明記していません。

法人のお客様向け
ソニー ウェブサイト

sony.jp/pro/



ソニーマーケティング株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

購入に関するお問い合わせ

業務用商品購入相談窓口

フリーダイヤル ☎ 0120-580-730

受付時間 9:00~18:00 (土・日・祝日、および弊社休業日は除く)

製品に関するお問い合わせ(使い方、故障診断など)

フリーダイヤル ☎ 0120-788-333 携帯電話・PHS・一部のIP電話からは 050-3754-9550

受付時間 9:00~18:00 (土・日・祝日、および弊社休業日は除く)

JO/DXOP-1 Printed in Japan. (84950903)

2021.4
カタログ記載内容2019年7月現在
本カタログは環境に配慮した植物油インキを使用